

一般社団法人栃木県介護福祉士会

介護の魅力と技を見せます！動画で介護技術コンテスト！！

その人思いを大切に、その人らしい、新しい生活をともにつくる

参加動画募集！

1. 開催趣旨

介護職員等が日頃の業務で身につけた専門的な介護技術を発表し、形のある評価を得られることで、仕事に対するモチベーションや誇りを高めるとともに、県民に対して介護の魅力を発信し、介護への理解を深めてもらうことを目的に、今年は動画で開催します。

2. 主催 一般社団法人栃木県介護福祉士会

3. 参加要件

介護の仕事に就いている者・県内養成校学生3人1組（撮影者は含まず）
職場の仲間、近隣の事業所の仲間、友達同士でももちろん3人1組であればOK！
個人情報に配慮したうえで撮影をしてください。

4. 審査方法：介護福祉士会理事が審査します。審査基準参照

結果発表：2020年3月10日ホームページに掲載

*副賞の発送をします。

5. 申し込み

(1) 選手応募要項を確認のうえ FAX にて申込。撮影方法など詳細をお伝えします。
気軽にお問い合わせください

【出場申込】2021年1月25日

【動画締切】2020年2月15日

6. その他 個人情報に十分に配慮し撮影をお願いいたします。

介護技術コンテストにおいて取得した個人情報については、介護技術コンテスト実施のために使用します。ただし受賞者の所属、氏名等についてはホームページ、広報誌で発表します。現在、動画の発表（発信）を検討しておりますが、未定です。

参加動画募集要項

1. 実技内容及び問題

- ・テーマは「介護技術」

制限時間は競技 5 分と事前説明 2 分・事後説明 3 分の合計 10 分

*「事前説明」はチーム（事業所）の紹介、見どころポイント（何を重視して介護をするのか）の説明します

*「事後説明」は個別援助計画を用いてケアの説明をします。

2. 応募対象 介護業務に従事している介護福祉士、介護職員、養成校学生

介護者役・被介護者役・解説者役の 3 名 1 チームで申し込み

チームは職場の仲間、ともだち、他事業所同士の連合チームでも可能

3. 留意事項

- ・各事業所や自宅等で撮影していただきます。（撮影機材、道具等各自ご準備ください）
- ・問題に記載されている被介護者の状態、場面設定以外の詳細については参加チームごとに設定してください

4. 審査基準

- ・介護の基本を遵守しているか（参照：日本介護福祉士会倫理綱領）
- ・被介護者・介護者ともに幸せか？

（自分もこういう仕事をしたい、こういう介護を受けたいと思える介護か？）

5. 個人情報の取り扱い

個人情報に十分に配慮し撮影をお願いいたします。

介護技術コンテストにおいて取得した個人情報については、介護技術コンテスト実施のために使用します。

ただし受賞者の所属、氏名等についてはホームページ、広報誌で発表します。

今後、動画配信も検討しております。

2020年度問題 介護技術・食事支援

問題	佐藤 博さん（72歳）は1年前に視力を失い日常生活全般において一部介助を必要とします。お部屋で椅子に座っています。もうすぐお茶の時間です。佐藤さんの身支度を整え食堂まで歩行介助をし、椅子に座りおやつを召し上がれる姿勢にしてください。
基本情報	佐藤博 72歳 男性性
健康状態	緑内障により全盲となる
心身機能構造	軽度認知症（Ⅱa） 緑内障のため失明 要介護3 障がい高齢者日常生活自立度A2
活動	座位可、歩行可 更衣は一部介助で可能 移動には介助が必要 食事は一部介助 排泄は一部介助 聞き手は右
参加	
環境因子	妻と二人暮らしだが入院中。子は車で30分くらいのところに住んでいる。
個人因子	

参加、環境因子、個人因子はそれぞれのチームで設定してください

モデルはアイマスクをして見えない状況にしてください。

身支度を整える、移動介助、おやつのセッティングは必ずいれてください

おやつは各チームで準備してください（実際に食べてください）

その他小道具の持ち込みOKです（杖・歩行器・ICT機器など）